

朋友だより

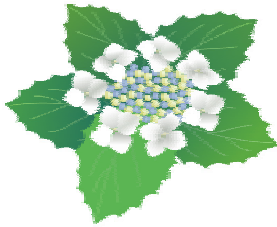
雨期に入り、東京ははっきりしない日が続いています。
皆様お変わりありませんか。

今年 5 月に中小企業憲章の政府案が発表になりました。中味はかなり見事なものです。これを機に、今の日本で何故、中小企業憲章が必要なのかを考えてみました。

このたび「朋友だより」を元にした本が出版されることになりました。
『小さな会社だからこそできる ― 中小企業の魅力と可能性』
(2010年7月、(株)旬報社 [URL:http://www.junposha.com/](http://www.junposha.com/)) です。
御期待下さい。

2010年6月

(有)コンサルタント朋友
代表取締役 奥長弘三



時代の転換点



中小企業憲章の政府案が公表された

前々回の朋友だより(No.102 2010.2.25 号)で、中小企業憲章のことをとり上げましたが、5月中旬に政府から中小企業憲章(案)が公表されました。広く国民からパブリックコメントを求めるためのものです。そして5月末にはパブリックコメントを採り入れた修正案が発表されました。

一読して内容の素晴らしさに感銘を受けました。明治以来、大企業偏重政策を押し進めてきた日本政府が、これほど中小企業の役割を積極的に認めているのかと正直おどろきました。

憲章の政府案から主な文言を拾ってみます。(順不同)

- ・ 中小企業は経済を牽引する力であり、社会の主役である。
- ・ 中小企業は国家の財産ともいふべき存在である。
- ・ 創意工夫を凝らし、技術を磨き、雇用の大部分を支え、暮らしに潤いを与える。
- ・ 中小企業は経営者と従業員が一体感を発揮し、一人ひとりの努力が目に見える形で成果に結びつき易い場である。
- ・ 経営者は、企業家精神に溢れ、自らの才覚で事業を営みながら、家族のみならず、従業員を守る責任を果たす。
- ・ 意志決定の素早さや行動力、個性豊かな得意分野や多種多様な可能性を持つ。
- ・ 中小企業は、社会の主役として地域社会と住民生活に貢献するとともに、伝統技能や文化の継承でも重要な機能を果たす。

その上で、中小企業憲章を制定し、中小企業のために次のようなことを行なうと宣言しています。

- ・ どんな問題も中小企業の立場で考えていく。
- ・ 経済活力の源泉である中小企業が、その力を思う存分に発揮できるように支援する。
- ・ 公正な市場環境を整える。
- ・ 人材の育成・確保を支援する。

- ・ 中小企業向けの金融を円滑化する。
- ・ 中小企業への影響を考慮し、政策は総合的に進める。
- ・ 政府一体となって取り組む。
- ・ 中小企業が光り輝き、もって、安定的で活力ある経済と豊かな国民生活が実現されるよう、ここに中小企業憲章を定める。

今、何故中小企業憲章なのか

以上のように、今回の中小企業憲章の政府案の内容はかなり画期的なものと考えて良いでしょう。ただ、一つ気がかりな点があります。今回の政府案では、「今、何故中小企業憲章が必要なのか」がはっきりしない点です。政府案を詳しく読めば概略、次のような記載があります。

- ・ 我が国は現在、世界的な不況、環境・エネルギー制約、少子高齢化などによる停滞に直面し、中小企業がその力と才能を発揮することが求められている。
- ・ 世界的にもこれまで以上に中小企業への期待が高まっている。
- ・ 難局の克服への展開が求められる時代にこそ、これまで以上に努力と創意工夫が求められる。中小企業はその担い手である。
- ・ 世界経済は成長の中心を欧米からアジアなどの新興国に移し、また情報や金融が短時間のうちに動くという構造的変化を激しくしている。変革の担い手としての中小企業に大いなる期待が寄せられる。

上記から、日本の社会・経済にとって、今、中小企業憲章が必要なのだということを読取ることは難しいでしょう。



時代の転換点

実は日本は、一昨年のリーマンショック以来、時代の大きな転換期に入ったのです。日本総合研究所会長の寺島実郎氏はその著書『世界を知る力』(PHP 新書、2010年1月)の中で、次のように述べています。

しかし時代は、再び変わる。すでに語ったように「イラク」と「サブプライム」で「アメリカの一極支配」的万能感は潰え去った。アメリカ自身が「チェンジ」と呼びだして「新自由主義」とも呼ばれた市場万能主義のありようから訣別しようとしている。(中略)

いま日本はようやく「改革」幻想から解き放たれようとしている。ただしアメリカのひそみになって「チェンジ」と叫んだものの、訣別した「新自由主義」の先にどういう花を咲かせるべきかについては、まだ責任ある回答が見えていない。(同書 P.133)

大きな転換点にあって、今まで常に、舞台裏に控えていた中小企業が、表舞台に登場するようになったのです。

中同協(中小企業家同友会全国協議会)の第42回総会議案書の第2章「中小企業をめぐる情勢」の中で、この一年間の変化を次のように述べています。(中小企業家しんぶん 2010年6月5日号)

この1年間、世界と日本の経済社会は歴史に残る変化が起っている。

1. 今般の世界的金融危機と世界同時不況の反省に立って、世界各国は、金融経済の暴走を許さない実体経済の再生を目指している。
2. GM の倒産やトヨタのリコール問題に見られるように、世界的巨大企業、日本を代表する大企業でも経済倫理をないがしろにし、消費者、顧客の支持を失えば、自らの存立基盤を大きく揺らぐことを示した。
3. G20 会議、COP15 など、新興国の存在を強く印象づけ、世界は多極化の時代を迎えつつあることを改めて認識させられた。
4. 政権交代後の政策転換や変化を中小企業及び同友会にとって有効に活用できる可能性が広がっている。

以上のような変化から示唆されることは、次のことである。

- ・ 中小企業が活躍する新しい舞台が形づくられつつある。
- ・ 中小企業には国づくりや地域づくりの一端を担っていく重要な役割が要請されている。

中小企業憲章の必要性

中小企業憲章は、次のようなことから考えて、現在の日本にとって無くてはならないものと言えます。

1. リーマンショック大不況を契機に日本の社会経済構造のあり方を見直す必要が出てきました。日本は時代の転換期に入ったのです。その一つの現れが、昨年夏の政権交代でした。
2. これからの日本の社会、経済の担い手として中小企業が注目されはじめました。大企業だけでなく、中小企業にも国づくり、地域づくりで果たす役割が期待されます。
3. 急速に存在条件が悪化している中小企業の経営を維持発展させることは、日本経済の健全な発展のため急を要することです。
4. 国際的にも中小企業の役割が重視されています。日本の中小企業政策は国際的に見てむしろ、後れをとっています。

中小企業憲章を時代の要請にかなったものにするためには、次の2点が不可欠のことと考えます。

- ・ 中小企業経営者を含め、広く国民の間での幅広い討論
- ・ 閣議決定に止めず、国権の最高機関である国会での決議



株式会社 せいじつ屋

(東京都新宿区：代表取締役 川端 協 氏)

広告代理店業を営む創業 15 年の若い会社です。得意分野は販売促進をメインとしたノベルティグッズ等の広告物の企画制作、パンフレット、チラシ等のペーパーメディアの企画制作、街頭キャンペーンの企画運営などです。

社名にあるように「誠実なお手伝いで、お客様の期待を超える貢献を果たし、お客様から選ばれたい会社へ」。これが同社の基本スタンスです。

お客様にとってトータルかつ無駄のない販促計画を立案・実行すること、一社一社ごとにオーダーメイドの販促計画をスタートからゴールまでお手伝いします。

街頭配布のアルバイトについても、説明会、面接を通じて、一定の基準をクリアした者のみを採用し、現場で研修して、仕事のルール、手順、マナーをマスターした者を手配することで高品質を維持しています。

川端社長の口癖は、「企業の規模ではなく、仕事の質、姿勢が一流であること。我々は業者ではなく、パートナーである。わが社でなければ出来ない仕事を行なう。これがパートナーの務めである。」川端社長を中心とした若いスタッフの団結力が、同社の今後の発展を保証しています。

経営理念

1. 私達は常に誠実を基本とし、お客様の期待を超える貢献を果たし、選ばれ続ける企業を目指します。
2. 私達はセールスプロモーションを通じ、お客様とエンドユーザーの出会いを演出し、良い商品の提供や豊かな生活の実現に寄与いたします。
3. 私達は、より豊かで幸せな生活を目指し、常に向上心を持ち前向きに行動いたします。

お問い合わせ： 株式会社 せいじつ屋

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-15-14 星野ビル 2 階

TEL. 03-3367-8785 FAX. 03-3367-6770

[URL: http://www.seijitsuya.co.jp](http://www.seijitsuya.co.jp)

～ あとがき ～～

朋友だより 104 号をお届けいたします。

6 月 14 日の夕刊に 7 年ぶりに 60 億和 (月との往復 8000 回分相当) 宇宙の旅からオーストラリア・ウーメラ砂漠に小惑星探査機 “はやぶさ” のカプセルが帰還、それを載せたパラシュートが着地した様子が写されていました。カプセルの中に小惑星イトカワから採取した物質が入っていることが期待され、分析によっては太陽系の起源や進化が解明されるかもといわれています。壮大な宇宙の神秘とロマンを感じる記事でした。(野上)



朋友

有限会社 コンサルタント朋友

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-2 3-8 第六川田ビル 201 号

TEL. 03-3833-6025 (代) FAX. 03-3833-6035.

URL : <http://www.ne.jp/asahi/foryou91/tokyo/>



小さな会社 だからこそ できる

中小企業の 魅力と可能性

奥長弘三◎著

(有) コンサルタント朋友・代表取締役。中小企業診断士、日本経営診断学会会員、東京中小企業家同友会会員。1959年東京工業大学化学課程卒業、同年三菱化成入社、89年同社退社。91年コンサルタント朋友設立。経営指針づくり、目標管理、問題解決を中心に中小企業の経営指導に活躍中。



日本と会社
を活性化!

主な目次

第1章 どのような会社をめざすのか

- 第1節 なぜ経営指針・経営理念が必要なのか
- 第2節 人間らしく働く
- 第3節 持続可能性をめざす

第2章 社員とどう関わるか

- 第1節 全員参加型経営
- 第2節 社員との信頼関係
- 第3節 社員との対話

第3章 新しいことへの挑戦

- 第1節 経営戦略
- 第2節 新しい価値観の追求

第4章 地域と関わる

- 第1節 地域とは
- 第2節 地域で暮らす、働く

第5章 中小企業への期待

- 第1節 グローバル化のなかの日本経済と中小企業
- 第2節 中小企業の魅力と可能性

申込書	小さな会社だからこそできる 中小企業の魅力と可能性 ISBN978-4-8451-1183-1 C0034 定価 1,575 円 (税込)	お名前 お住所 ご連絡先	取扱書店
	 〒112-0015 東京都文京区目白台 2-14-13 電話：03 (3943) 9911 ファクス：03 (3943) 8396 http://www.junposha.com/	注文 冊	

お求めは最寄りの書店へどうぞ。小社にお申込みの場合、代金引換（送料 200 円）となります。